

川笠原千橋 （きんきほら） 舊會津藩儒。文政五年陸奥國生乳。明治十四年八月十四日没（八三—八二）。舊長阪（坂）、諱勝修、字修之、通稱常次郎。別號雁木守。藩費（百新館）學び、昌平坂學問所の遊學。歸藩後藩警教授。明治二年東京府出仕、のち開拓使に轉じつが病を獲て浪官し、栃木に往して療養。南摩羽峯とは竹馬の友。

岩垣松苗の『國史畧』を繼いだ、谷寬得原撰『續國史畧』全五冊（明治六年一月柏悅堂梓）を刪補出版し、更に自ら『續國史畧・後編』全五冊（明治七年二月新刻・五月序、柏悅堂梓。異版・八年十一月十五年版權免許、柏悅堂梓）を著はした。他に『愛國偉績』全三冊（明治八年十一月十五年版權免許、柏悅堂梓）、『續國史略字引』（明治十年六月柏悅堂）等。